

令和5(西暦2023)年度 事業計画書

自:令和 5年 4月 1日
至:令和 6年 3月31日
(万円未満切捨表示)

費目	科目	助成区分	助成金額 (目安とする件数)	日程 他	(参考) 令和4年度実績	
			東海3県 (愛知・岐阜・三重)		計画	実績
研究助成金支出	単年研究支援	A1. 特別研究助成 300万円 機械・装置などで高額な費用を要する高度な研究(300万円以上)	3,000万円 (10件)	<公募> 3月27日～4月21日 <審査・選考> 4月28日～5月16日 <選考委員会> 6月中旬を予定 <交付> 8月下旬を予定 <海外研究助成 対象期間> ①令和5年4月1日～ 令和6年7月31日	3,000万円 (300万円×10件)	3,000万円 (10件)
		B. 一般研究助成 150万円 機械・装置などで費用を要する研究	3,750万円 (25件)		3,750万円 (150万円×25件)	4,950万円 (33件) (内訳) A申請 10件 B申請 23件
		A1+B 小計	※1 6,750万円 (35件)		6,750万円 (35件)	5,950万円 (43件)
	複数年研究支援	A2. 特別研究助成 300万円 研究に数年の期間を要す、基礎工学の高度な研究(300万円以上) ※4 3年300万円(初年度100or150万円) 令和5年度に支払う額は【】に表示	1,500万円 (5件) 【950万円】		1,500万円 (300万円×5件) 【1,450万円】	300万円 (1件) 【1,050万円】
		A2 小計	※4 1,500万円 (5件)		1,500万円 (5件)	1,500万円 (5件)
	海外調査発表支援	C. 海外調査研究助成 ※2 20 or 15 or 5万円 海外での研究発表や情報収集のための渡航費等を助成。また、渡航なしの発表にみにも助成 渡航地域が a地域は15万円、他 b地域は20万円、渡航無は5万円とする	渡航あり 260万円 (13件) 渡航なし 40万円 (8件)		100万円 (20万円×3件) (5万円×8件)	75万円 (内訳) 20万円(4件) 15万円(0件) 5万円(0件)
		C 小計	300万円(21件)		100万円 (5件)	80万円 (4件)
	研究助成金 計		※3 8,550万円 (61件) ※4 【8,000万円】		8,300万円 (45件) 【6,850万円】	6,825万円 (39件) 【9,080万円】
	事業管理経費	①:選考委員謝金、会議費等 選考委員会及び贈呈式の開催経費	189万円		189万円	51万円
		②:HP管理費・広告宣伝費 財団の事業を紹介するホームページ	6万円		6万円	7万円
事業管理経費 計		195万円	195万円	58万円		
事業費用合計		8,745万円 【8,195万円】	8,495万円	9,138万円		

※1 : A1:特別研究、B:一般研究助成において、同じ土俵で順位付けした上で、件数にこだわらずA1+Bの予算額まで助成が可能。ただし、A1は計画数までとしAの次点以降の研究は予算枠に入れば、B相当額をを助成。

※2 : C:海外助成において、海外渡航の有無-行先により3種類(渡航無:5万円 a地域:15万円 b地域:20万円)上位より予算額まで助成。上記表は20万円と仮定

※3 : 助成区分A1.A2.BとCにおいて、助成区分ごとの上限予算まで計画どおり対象者の選出ができない場合、選考委員会の決議を持って区分ごとの予算額・件数にとらわれず、研究助成金 合計額を上限に助成が可能

※4 : A2:特別研究助成は3年間で300万円の複数年助成のため、初年度の助成金額は100万円か150万円のいずれかから選択可能。上記表は初年度100万円と仮定